

# タンネウシ



# 1月号

タンネウシはアイヌ語で「長い・木の・群生しているところ」。博物館付近の地名です

## ロビー展

### 「樺太(絵ハガキに見る樺太の記憶～知られざる北の国境)」

日本が統治していた時代の樺太(サハリン)で販売されていた絵葉書を展示します。宗谷管内、オホーツク管内の博物館連絡協議会の連携事業です。ぜひこの機会にお立ち寄りください。▶期間：～令和4年1月30日(日)▶場所：交流記念館ホール ※ロビー展のみの観覧は無料



ロビー展会場の様子

## 博物館カフェ

### 「アイヌ語地名から探る絶滅危惧種カワシンジュガイの棲む川!」

カワシンジュガイという川に棲む二枚貝を見たことがありますか?この貝は、綺麗な川にしか棲めないことから、棲む川を特定することで現在の川の環境を窺い知ることができます。北海道に残るアイヌ語地名には、このカワシンジュガイを意味する地名が数多く残っています。では、北海道のどこにどれくらい地名が残っているのでしょうか?地名の残る川には現在もこの貝が暮らすのでしょうか?今

年度行った現地調査の様子や結果を、写真や映像を用いて、三浦学芸員がご紹介します!▶日時：令和4年1月20日(木) 18:30~19:30▶場所：交流記念館2F会議室▶定員：15名、要申込、参加無料※内容は中学生以上対象を想定



川底で群生するカワシンジュガイ

## 博物館講座

### 「厳寒の天体観察会」

冬の星座は明るい星が多く、7つもの1等星が輝いています。またオリオン座大星雲など有名な星雲・星団も多く見られます。冬の天体を観察してみましょう。▶日時：令和4年1月21日(金) 18:30~19:30、悪天候の場合は22、23日に順延▶場所：博物館前庭、天体ドーム室▶講師：村上館長、合地学芸員▶定員：20名、要申込、参加無料※小中学生は送迎をお願いします。上記時間のうち途中参加、退場は自由

## 博物館講座(博物館キッズ拡大版)

### 「化石レプリカづくり体験!」

大昔に生きていたアンモナイトの

化石レプリカを石膏を使って作ってみます!▶日時：令和4年1月16日(日) 9:00~11:30▶場所：交流記念館2F実習室▶定員：5名、要申込、参加無料、小3以上対象

## 収蔵資料展示

### 「昭和の羽子板」

羽子板は「邪気を羽根(はね)のける」の意味があり、無事成長することを願うための大切な飾りです。新年や初正月の喜びを華やかにする昭和の羽子板を展示します。▶期間：～令和4年1月23日(日)▶場所：本館受付前※本展示のみの観覧は無料

## 学芸員のイチオシ



デジタル温湿度ロガー 展示の際、ガラスケースや展示会場内の温湿度管理が重要になります。そのような時、このロガーが役に立ちます。夜間のデータも記録でき、スマホのアプリと連動させることで、無線でデータを回収して結果を示してくれます。(三浦)

休館日 ~1月3日(月)の年始、1月10、17、24、31日(月)、11日(火)

編集後記 本年も知床博物館をどうぞよろしくお願ひ致します。(三)